

2026年 秋号

大田ちひろ 生き活きレポート

越谷市議会 議会報告

発行：大田ちひろ
埼玉県越谷市東越谷1-5-17
電話・FAX　048-962-8052
WEB https://lit.link/chihiro0413
ご意見・ご要望をお寄せください。
Mail:koshigaya.net@gmail.com
Facebook Instagram

越谷市議会 9月定例会報告

一般質問 望まない妊娠を防ぐ「緊急避妊薬」、越谷ではどこで手に入る？

問 孤立出産や望まない妊娠を防ぐため、今年2月から一定条件の薬局で購入可能となった緊急避妊薬へのアクセスは。

また、市ホームページで販売薬局を一括周知することや、相談窓口（＃8891や「にんしんSOS埼玉」など）との連携、市役所のどの窓口でも案内できる体制づくりは。

相談窓口 ＃8891

にんしんSOS埼玉



市長 2026年9月1日時点で市内の13薬局で販売可能であり、今後さらに増える見込み。

必要な方が情報を得られるよう市ホームページに掲載を検討する。市職員向け掲示板などを活用し、どの窓口でもスムーズに対応できるよう庁内共有を図る。

大田の一言

緊急避妊薬は72時間以内に服用することで妊娠を防止する効果があり、その服用は一刻を争います。

緊急避妊薬が間に合わなかった場合、人工中絶が考えられますが、体への負担は大きくなり、費用も初期中絶なら7万～10万円、中期中絶となると40万～60万円と高額になります。

そして、22週を超えると出産するしかありません。もし、妊娠したかもしれないと思ったときは1分1秒でも早く信頼できる大人に相談してください。





一般質問 包括的性教育を全ての学校で





問 現在、越谷市は子どもが自分の体や権利を守り、困ったときに相談できる力を養うため、全小中学校で「生命（いのち）の安全教育」を行っている。

今後、人権の観点を含み体系的に学ぶ「包括的性教育」に発展させる考えは。







教育長 昨年度、助産師等の外部講師を招いた授業は市内22校で実施（前年度18校から拡大）。校長会で事例や講師情報を周知し、保護者が参加しやすい形を検討するよう呼びかける。

効果的な実践事例や外部講師の紹介を含め、校長会や研修等で周知するなど、包括的性教育について取り組んでいく。

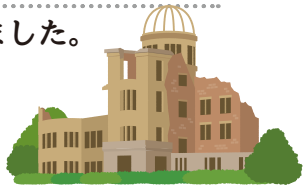
意見書　「持たず・作らず・持ち込ませず」をこれからも

9月定例会では、意見書「非核三原則の堅持を求める意見書」が全員一致で可決されました。

近年、国際情勢の緊張の高まりを背景に、核共有や核抑止力の強化に関する議論が行われるなど、非核三原則の形骸化につながりかねない動きが懸念されています。

世界で唯一の戦争被爆国として、核兵器の悲惨さを風化させず、再び広島・長崎の惨禍を繰り返さないためにも、日本政府が非核三原則を堅持し、核兵器廃絶に向けた国際的役割を果たすことが、強く求められると考え、清水泉・大田ちひろが提出者となり提案しました。





「将来、安全保障環境が大きく変化した場合であっても、時の政権の判断にかかわらず、非核三原則を堅持することを求めているのか」や「政府は堅持する姿勢を示している。なぜ今意見書を提出するのか」といった質疑がありましたが、採決では全員一致で可決となりました。

なお、「国際刑事裁判所（ICC）への制裁の撤回を働きかけることを求める意見書」も全員一致で可決しました。





報　告　中学校給食費の保護者負担を期間限定で軽減



物価高騰が続く中、子育て家庭の負担を軽減するため、越谷市では2026年10月から2027年3月まで、中学校給食費の保護者負担額を月額4,850円から2,500円に引き下げます。

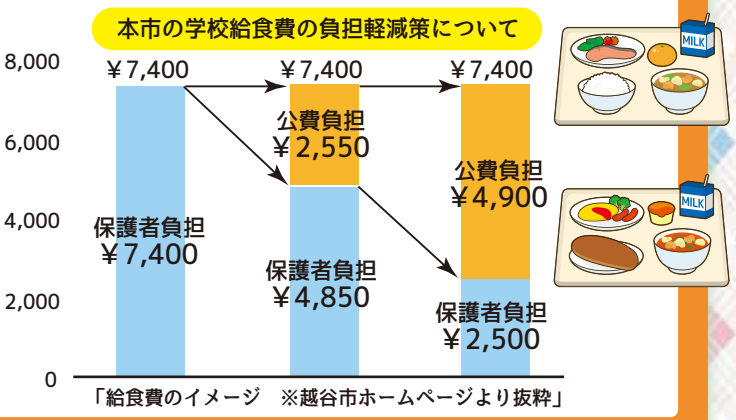
今回の措置は、国の重点支援地方交付金と市の一般財源、合わせて1億600万円を活用します。保護者の手続きは必要ありません。

越谷市では、2025年度から学校給食費の一部を公費で負担しています。今回の引き下げは、物価高騰への対応として、さらに6か月間、保護者の負担を軽減します。



しかし、今回の措置はあくまで時限的なものです。今後も子育て世帯の負担軽減と、安心して食べられる学校給食をどう支えていくのか、引き続き議会で取り上げていきます。

※小学校の給食費は2026年4月から全国一律で無償化されています。





〈大田ちひろプロフィール〉

- 1981年生まれ　高知県出身
- 南越谷地区在住
- 民生常任委員会

コロナ禍を経て社会の課題に気づき議員となりました。黙っていては望む社会は手に入りません。暮らしの声を市政に伝えます。